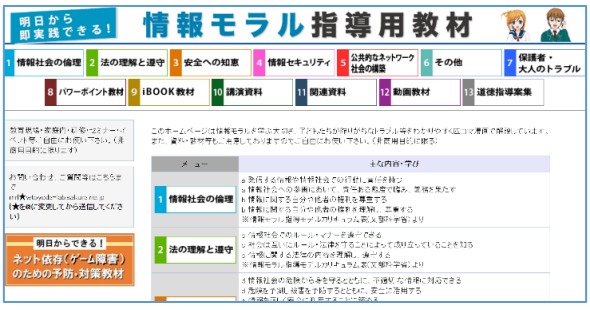
学校だより

雑賀崎小学校
２ 月 号
令和６年度
2024 年度

○　「明日からできる情報モラル」



先日、和歌山大学教職大学院教授の豊田充嵩先生の話を聞く機会がありました。上記のタイトルは、インターネットで検索すると、豊田先生が作っている情報モラル指導用教材のページが開きます。

豊田先生は、実践的な（使いやすい）教材の研究をされている方で、自身で作成したものや、文科省や経済産業省等で作成された資料や、人権についての関係機関の資料等も集めていて、何か使いたいときには、ここから探すと、使いやすいものが見つかります。

新しい課題（問題）についても、資料も増えていって、どんどん更新されています。

子どもの SNS 利用では、いまだにトラブルが絶えないようで、『ネットへの書き込みには「責任がともなう」「信頼・信用問題」である。』ということが子どもたちは身についていないようです。

写真等を SNS に投稿するのは危険であると知っていても “2 人で撮った写真があったときに、その 2 人の感覚の相違があれば、一人が「投稿してほしくない。」と思っていても、もう一人が「グループだけのサイトに投稿するから大丈夫。」と思って投稿することがある。その結果、その写真から個人情報が拡散し…、ということが実際にあるとのことです。

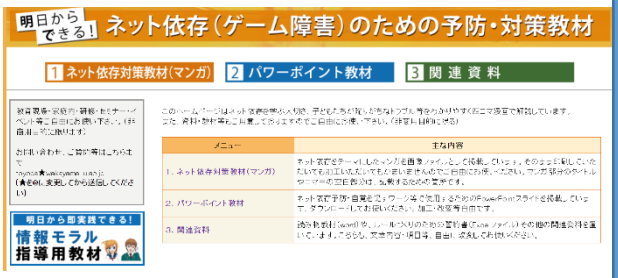
グループのメンバーだけが見ることのできる SNS にアップしたとしても、そのメンバーの誰かがちがうところで拡散する可能性もあります。

自分で自分の個人情報を投稿することは減っていると思いますが、思わぬところから流れた情報を集めていけば、かなり本人の近くまでたどり着けます。

マンガで紹介してくれていたり、動画で紹介してくれていたりと、家庭でも子どもと一緒に情報モラルについて学ぶのに使えるように、豊田先生のサイトは作られています。

豊田先生のページへの QR コード

また、豊田先生のサイトの左のバナーからは、「明日からできる!ネット依存（ゲーム障害）のための予防・対策教材」に移動できます。



こちらはネット依存（ゲーム障害）についても、わかりやすく学習できるようになっています。

裏面に、その教材の「1ネット依存対策教材（マンガ）」の「19 オンオフ遊び（小学生）」他を載せておきます。

家にいるときの時間の大部分が、ゲームサイトやユーチューブ等の動画サイトを見続けるなど、ネット利用ばかりになっていませんか？

子どもたちが大人になるまでの時間をそう過ごさせるのか？子どもの可能性が、狭まらないようにしていきたいものです。

豊田先生の話でも、依存症は「人間らしい生活が送れない」社会問題と言っていました。スマホ依存の拡大による深刻な社会的・経済的損失が今後増えてくるそうです。

これまでの（危険性周知がメインの）情報モラル教育から、今後は判断力を重視した学習に切り替えていく必要があります。

「ネットには危険が潜んでいる。」ということは、知っていると思いますが、知っているだけでは、危険を回避できません。

その問題（トラブル）を、いかにして回避したり、解決したりするための判断できる力が必要になります。子どもたちだけでなく、大人も必要な力になりますので、私たち教員も保護者も、機会を見つけては、新しい情報や考え方を一緒に身につけていきたいと思います。

○「大根」おいしい！

先日幼稚園の先生から、園児たちが育てた大根がたくさんできて、どうするか考えたところ、「小学生と一緒に食べたい…。」となったということで相談がありました。

そこで、給食の献立が「麻婆大根」の 1/27（月）に急遽、幼稚園で採れた“おでん大根”（1本4kgくらい）2 本を給食に使ってもらい、一緒に食べる幼小交流給食を実施しました。

小学生も大根が苦手な子が多く、今までの麻婆大根の時は、おかずを減らす子も多かったのですが、この日の大根はとても甘くて柔らかく、みんな残さず食べていました。

さらに、お代わりをして、ご飯の上にのせて、麻婆丼にして食べている子もいました。

幼稚園のみんなが育ててくれた大根を、おしくいただくことができました。

明日からできる!ネット依存（ゲーム障害）のための予防・対策教材

> 1 ネット依存対策教材（マンガ）

> 19 オンオフ遊び（小学生）

明日から即実践できる!情報モラル指導用教材より